●指導のポイント

※大乗小学校では，道徳科は，全教育活動を通じて行う道徳教育の要であり，その授業を公開することは道徳教育への理解と協力を地域から得るためにも大切であるという考えから公開授業に取り組んでいる。道徳教育全体計画の中にある「地域や保育・教育機関との連携」「家庭との連携」「キャリア教育」に基づき，毎年，道徳参観日にゲストティーチャーを招聘し，地域ボランティアの方，保護者，こども園の先生，大乗公民館館長，習字の先生などを招いて授業を行い，保護者，地域の方に公開している。

道 徳 教 育 全 体 計 画（平成３０年度）

日本国憲法
教育基本法
学習指導要領
広島県教育委員会
竹原市教育委員会

学校教育目標
夢に向かって『主体的・協働的』に伸び合う
―気づき，考え，つながり，輝く―

児童の実態
・明るく活発である。
・人との関わりが苦手な子もいる。
・進んで目標を達成しようとする意識が低い

めざす子ども像
力を合わせ
きらり輝け
大乗っ子

教職員・保護者の願い
思いやりのある子ども
ねばり強い子ども
生命を大切にする子ども
きまりを大切にする子ども

道徳教育目標
全教育活動を通して道徳的価値を自分の生き方に結び付けながら，道徳的実践力を育成する。

重点目標
きまりを守り，規則正しい生活を送る子ども
全校重点目標項目
Ｃ－(低 10　中 11　高 12)　公徳心，規則の尊重

特別の教科　道徳
「よりよく生きよう」とする心豊かな子どもの育成をめざし，全教育活動にわたって行われる道徳教育において価値の自覚を深めながら，道徳的判断力・心情・態度を養い，道徳的実践力を育てる。

各教科
・教科の目標を達成しながら，道徳の基礎となる力を養う。
・直接・間接に含まれる道徳性育成に関する事項を把握しておき，適切に取り上げ，道徳教育の効果を高め子どもが自分の意見を伸び伸びと言えるよう取り組み，ことばを媒介として伝え合い，深め合えるようにする。

「わたしたちの道徳」の活用
「わたしたちの道徳」を計画的に使用し，効果的な活用を行い，家庭との連携も図っていく。

学級づくり
自分の意見を持ち，それを伝え合い，お互いに深め合える関係を確立していく。
○道徳的な雰囲気作り
○学級経営の充実
○授業の工夫

特別活動
・全校や学年の一員として諸活動に参加することにより，協力的・共感的な態度を育てる。
・活動を通して，お互いの良さを発見し，認めあう。
・道徳性の育成を資する体験活動を推進する。

総合的な学習の時間
・自然や環境に興味関心を持たせ，様々な事象と向き合ったり，様々な人々と語り合ったりするなかで，自分自身を見つめ，互いに認め合い，高め合っていけるよう指導する。道徳性を「生きる力」として根付かせる。

学校環境整備
道徳的実践意欲を高めるのに役立つものにしていく。
・ 環境の美化

生徒指導との関連
生徒指導部を中心に組織的に生徒指導を進めることにより，児童の道徳的実践力を高める。
・校内体制における密な連携
・竹原中学校との定期的な連携
・保・幼・小の定期的な連携

地域や保育・教育機関との連携
共に子どもを育てていくという視点にたち，連携を深め協力態勢を深める。
・ゲストティーチャーとして招聘。幼稚園や保育所，中学校との連携。

キャリア教育
よりよい人間関係を築きながら，自分のよさに気づき夢と希望のある生活や将来を創り出していこうとする態度を育てる。

家庭との連携
互いに子どもを育てていくという視点にたち，連携を深める。
・ 道徳の授業参観
・学校通信，学級通信

道　徳　性　の　育　成